

2011年11月9日
イオン株式会社
イオンモール株式会社

日本最大の小売業グループ「イオン」 カンボジアにおけるショッピングモール出店について

イオン株式会社(※1)、及びイオンモール株式会社(※2)は、カンボジア王国(以下、当国)において小売業を展開するにあたり、このたび当国よりの出店認可を受け、2014年の開業をめざして1号店となるショッピングモールを出店することといたしました。

この度のカンボジアへのショッピングモールとしての進出は、当社にとっては、将来的な経済成長の期待度が大きいこと、また、過去の当社との関わりから、当国の流通近代化や、国民の生活向上に貢献することを目的に出店するものです。

記

1. 1号店計画について

- 所在地：#132, Street Sothearos, Sangkat Tonle Bassac Khan Chankarmon, Phnom Penh (パサック川 ソフィテルホテル隣)
- 敷地面積：約68,000㎡
- 核店舗：AEON (総合スーパー)
- ディベロッパー：イオンモール(カンボジア)株式会社
- スケジュール：着工予定 2012年
開店予定 2014年

2. 当社進出によるカンボジア王国への貢献について

- ①流通の近代化
- ②雇用の確保(1店舗当たり 1,500~2,000名の雇用創出)
- ③教育訓練による日本の小売技術の伝承、販売ノウハウの継承
- ④より安全、良質な商品の提供、及び新しい商品の提供による豊かな生活の提案
- ⑤当社PB商品、開発商品の導入による物価の引き下げ
- ⑥日本、海外からのテナント誘致

3. イオンモールカンボジア 概要

- ①商号 イオンモール(カンボジア)株式会社
AEON MALL(CAMBODIA)CO.,LTD
- ②本社所在地 No,132 Street Sandach Sothearos, Sangkat Tonle Bassac, Khan Chankarmon, Phnom Penh
- ③設立 2011年8月
- ④資本金 8,000,000,000 リエル(2,000,000 US\$)
- ⑤代表者 代表取締役社長 矢島 誠(Mr. Makoto Yajima)

【出店イメージ】



4. カンボジア王国とイオンのこれまでの交流について

当国とイオンとは、これまでイオン1%クラブ(※3)や公益財団法人イオン環境財団(※4)を通じて、「バットバン義肢センター」支援募金、井戸等の建設を通じて現地の人々に安全な水を提供するセーフウォーターキャンペーン、149校の学校建設支援や「シハヌーク・イオン博物館」の寄贈、さらにはアンコールワット周辺での植樹活動など、様々な交流を行ってまいりました。

■1998～2000年 「バットバン義肢支援センター」支援

地雷被害者への義手・義足支給とリハビリテーション施設であるカンボジアの「バットバン義肢センター」への支援を実施。お客さまからの募金とイオン1%クラブからの拠出金を合わせ、およそ1億7,363万円を、この施設を運営している日本赤十字社へ寄付しました。

■2000～2003年 「学校建設支援事業」

長く続いた内戦によって失われたカンボジアの教育基盤の早期回復を願って(財)日本ユニセフ協会とのパートナーシップの下、カンボジアに149校の学校を建設支援しました。2003年度までにイオン各社の店頭と事業所で募金活動を実施し、お客さまからの募金1億4,679万円にイオン1%クラブからの寄付金1億3,900万円を加えた総額およそ2億8,600円を(財)日本ユニセフ協会へ寄付。また、教師の再教育プログラム・奨学金制度などのソフト面にも力を入れ、カンボジアの未来を担う子どもたちへの教育支援活動に取り組みました。

■2002、2004～2006年 「アンコールワット植樹」

世界遺産のアンコールワット周辺3ヘクタールの地に、ボランティア参加のもとで、延べ1,000名を超える方にご参加いただき、現地の自生種のラワン、チーク類の苗木等合計7,600本を植樹しました。

■2007年「シハヌーク・イオン博物館」建設支援

「カンボジア人による、カンボジアのための、カンボジア遺跡の保存・修復」を方針に活動する、当時の上智大学石澤学長率いるアンコール遺跡国際調査団のカンボジア人考古学研修生達によって、12世紀末の仏教寺院バンテアイ・クデイ遺跡から歴史的価値のある千体仏石柱を含む274体の石仏が発掘されました。イオンはカンボジアの文化遺産がカンボジアの誇りになることを願って、これらの石仏をカンボジアの地で研究と保存をするため、アンコールワットの隣接地に「シハヌーク・イオン博物館」を建設支援しました。

■2010～2011年 「カンボジア植樹」

カンボジアで12～13世紀に栄えたアンコール王朝の遺跡「チャウスレイ・ヴィヴォル寺院」に森をつくることにより、風雨から遺跡を守るために植樹をしました。

■2010～2012年 「イオン・ユニセフ セーフウォーターキャンペーン」

カンボジアおよびラオスにおいては、子どもたちは高学年になるほど、親からは水汲みを中心とした家事労働を任される為、授業の出席率が低下しています。また、彼らが生活に使っている水自体も、河川や池などの水であり、衛生面・健康面で大きな問題になっています。イオンは2010年より3年計画で、(財)日本ユニセフ協会とのパートナーシップのもと、セーフウォーターキャンペーンを実施しています。お客さまからの募金とイオン1%クラブが同額を加算して、日本ユニセフ協会に寄贈。生徒が暮らす村を中心に重力式給水施設、雨水タンク及び井戸を、新たに導入する予定です。

5. その他のアセアン諸国との交流について

■ 1990年～ ティーンエイジ・アンバサダー（小さな大使）事業

「ティーンエイジ・アンバサダー」事業は、環境をテーマに次代を担う青少年の国際的な相互理解、親交を深めることを目的に、1990年から実施している活動です。

2010年までに、マレーシア、英国、タイ、ブルガリア、ブラジル、オーストラリア、ペルー、中国（香港）、韓国、カンボジア、インドネシア、ベトナム、ドイツ、イタリアの14カ国508名の高校生を日本に招待しました。毎回、ティーンエイジ・アンバサダーの一行は、大臣や大使などを表敬訪問したり、環境学習としてイオンのエコストアや環境に配慮した最先端の工場を見学したりするほか、日本の高校への体験入学やホームステイを通じて、日本の文化や習慣を学びながらお互いの国の理解を深めています。また、2006年のオーストラリアからは、日本の高校生も相手国を訪問するプログラムを追加し、更なる相互交流を図っています。

■ 2004年 マレーシア植樹

2004年9月に、イオンマレーシア設立20周年を記念し、クアラルンプール郊外ウエットランド自然保護区のスズ採掘跡自然公園で、日本から851名、マレーシアから2,000名、合計2,851名による植樹を実施しました。

その後2008～2009年に追加植樹を行いました。

■ 2005、2007年 タイ津波被災地植樹

2004年12月26日に発生したスマトラ沖地震で大きな被害を受けたタイ南部地域の復興支援のため植樹活動を実施しました。2005年から日本・タイの市民ボランティアによる植樹を実施し、市民レベルの友好を図ってきました。2007年には、津波被害が最も大きかったパンガー県ナイライ村で、740名（日本側290名、現地450名）が6,000本のソントレ、サラピータレ等を植樹。

■ 2006年～ イオンスカラシップ

2006年から、次代を担う優秀な私費留学生に対して奨学金を付与することで経済的な援助を行っています。2010年度は日本国内11大学53名、中国国内6大学434名タイ国内2大学8名に対して支援を行いました。

■ 2007年～ 万里の長城植樹

中国は万里の長城周辺で1998年から2000年に39万本、2003年から2005年に8万本の植樹を、日中の市民ボランティアの参加を得て実施。環境問題には国境がないと言われていることから、日本の環境問題を考えた時、同時に中国の環境問題を解決することが重要と考え、100万本を目指し5年計画で八達嶺付近に油松、モウコナラ、コノテガシワ等を植樹し、2010年4月、累計100万本の植樹を達成。

■ 2009～2011年 ラオス植樹

ラオスの首都ビエンチャン郊外のダム湖周辺は、灌漑用のダムを造成した際、多くの木が伐採され、裸地が放置されていました。そこに植樹をして市民の憩いの場とし、ダムの保水力と浄化能力を向上させます。

■ 2010年～ アジア大学生交流フォーラム

日本の大学生をベトナムに派遣し、同世代学生との環境問題や国際問題についてのディスカッションなどを通じて、価値観の多様性の理解と相互の信頼を深める為に実施しています。2010年から始まった当プログラムは、イオン・スカラシップの対象大学から英会話力を条件に学生を選抜し、25名の日本人大学生をベトナムに派遣しました。

■ 2010～2012年 ベトナム フェ植樹

ベトナム南部の世界遺産都市フエ郊外ランコー地区は、世界有数の海岸線を有する風光明媚なところですが、周辺の山の木の伐採により、水質の悪化が懸念されています。

この地に森を再生することで景観の維持や海産物の保護に寄与します。

※1：イオン株式会社

総合小売業を中心に国内外約180社の企業を傘下に有する純粋持ち株会社。お客さまとのコミュニケーションを通じ、地域に根ざした経営の下商品、サービスを提供しています。

※2：イオンモール株式会社

日本で唯一のショッピングセンター（SC）専門ディベロッパー。リージョナルショッピングセンターを中心に、国内57箇所、海外（中国）で2SCを開発・運営しています。

※3：イオン1%クラブ

1989年に設立され、グループ優良企業各社が拠出した税引前利益の1%を使って、「環境保全」「国際的な文化・人材交流、人材育成」「地域の文化・社会の振興」を柱に様々な活動をしています。

※4：公益財団法人イオン環境財団

イオンはかねてより、平和の追求・人間尊重・地域に貢献という基本理念に基づき、植樹活動や資源の再利用・リサイクル・ゴミ処理問題に取り組んできました。こうした状況を踏まえ、当財団は地球環境を守るための諸活動を自ら展開するとともに、同じ志を持つ各団体への支援・助成の実施を目的として1990年に設立されました。